

グリーンスローモビリティのポイントと 普及に向けた政策の方向性について

国土交通省 総合政策局 環境政策課
課長補佐 多田 佐和子

2019年11月1日（金）

グリーンスローモビリティとは

グリーンスローモビリティ：電動で、時速20km未満で公道を走る4人乗り以上のパブリックモビリティ

【グリスロの5つの特長】

- ①**Green**・・・CO2排出量が少ない**電気自動車**
- ②**Slow**・・・**ゆっくり**なので、観光にぴったり
- ③**Safety**・・・速度制限で安全。**高齢者**も運転可

④**Small**・・・小型なので**狭い道**でも問題なし

⑤**Open**・・・窓がない開放感が乗って**楽しい**

※乗合バス事業、タクシー事業、自家用有償旅客運送で運行可

軽自動車	小型自動車	普通自動車
 4人乗り	 7人乗り	 10人乗り
 4人乗り	特殊用途車両（8ナンバー）  福祉車両タイプ	 車椅子リフター可 10人乗り
		 車椅子リフター可 16人乗り

グリーンスローモビリティの活用場面

低速のため近距離移動を得意とするグリーンスローモビリティは、既存の交通機関を補完する新たな輸送サービスとして、地域住民のラスト/ファーストワンマイルや観光客向けの新しいモビリティ、地域の賑わい創出などの活用が期待されている。

①地域住民の足として

- 1) バスが走れなかった地域
- 2) 高齢化が進む地域
- 3) お年寄りの福祉増進
- 4) 既存のバスからの転換

②観光客向けのモビリティとして

- 1) ガイドによる観光案内
- 2) プチ定期観光バス
- 3) パークアンドライド
- 4) イベントでの活用

③ちょこっと輸送

駐車場から施設まで
施設から施設まで

④地域ブランディング

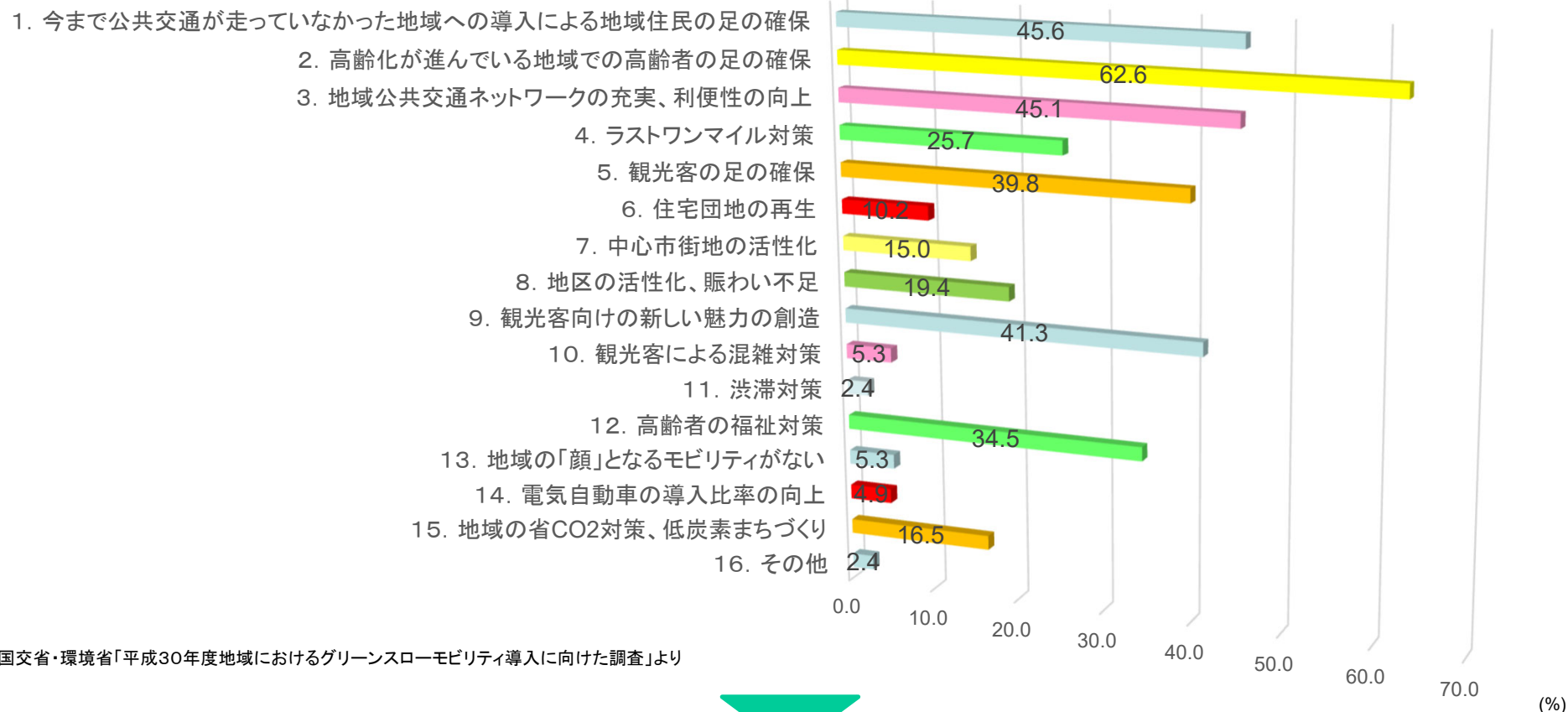
「地域の顔」として



地域の活用意向

グリーンスローモビリティは、地域での低炭素社会の実現と交通・福祉・観光などの地域が抱える様々な課題の解決を同時に進められる新しいモビリティとして、地域からも期待されている。

Q グリーンスローモビリティを導入することで、解決できる課題(回答数=206)



地球温暖化

地域公共交通の確保

高齢化社会

観光振興

グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業

(国交省単独)

- 環境への負荷が少なく、狭い路地も通行が可能で、高齢者の足の確保や観光客の周遊に資する「新たなモビリティ」として期待されているグリーンスローモビリティの地域での活用に向け、地方公共団体を対象に実証調査を実施

グリーンスローモビリティ

電動で時速20km未満で公道を走る4人乗り以上のパブリックモビリティ

- 地域の様々な事情に合わせて活用場面を考えられる「**低速の小さな公共交通**」
- ゆっくりな移動を楽しむことができ、コミュニケーションが弾む「**乗って楽しい公共交通**」
- **地域が抱える交通等の課題解決と脱炭素社会の確立**を同時に実現



事業内容

- グリーンスローモビリティの活用に向けた実証調査の実施を希望する地方公共団体からの企画を募集
- 採択された地域に対して、2～4週間、車両を無償貸与するとともに、国土交通省が委託する外部専門機関による助言支援を実施

○審査のポイント

- ・地方公共団体が主体となり実証調査を行う意向があること
- ・予め警察署・地方運輸局・道路管理者との事前調整を行っていること
- ・実証調査終了後、事業化に向けた取り組み意向があること

○使用車両

- ・ゴルフカート（定員:4名又は7名）:最大2台
- ・eCOM-8（定員:10名）:1台

事業スキーム

国土交通省総合政策局
環境政策課

① 業務委託

事務局（民間）

② 車両貸与
助言支援

採択地域（6～7地域）



※写真はいずれも平成30年度実証調査のもの 4

グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業

(国土交通省 国交省単独)

○平成30年度 13地域から応募があり、5地域を選定。

福島県いわき市	被災復興地域の経済循環促進に向けた地域交通イノベーション実証事業 【被災地中心市街地での観光客向け定期周遊モビリティ】
三重県東員町	高齢化が進む住宅団地で共助によるモビリティサービスの実現 【名古屋圏ニュータウンでの住民向けデマンド型ラストワンマイルモビリティ】
岡山県備前市	鶴海お出かけちょい乗りカート運行事業 【福祉と連携した中山間高齢者向けデマンド型ラストワンマイルモビリティ】
広島県福山市	しおまち（潮待ち）モビリティ実証事業～国内随一の近世港町「鞆の浦」の暮らしとおもてなしをつむぐ～ 【住民の暮らし、観光客のおもてなし、離島のお出かけモビリティ】
熊本県天草市	低炭素型モビリティを活用した世界遺産と住環境の保全支援事業 【世界遺産集落で住民生活と共存する住民・観光向けモビリティ】

○令和元年度 14地域から応募があり、7地域を選定。

千葉県松戸市	全世代型地域共生モビリティ実証事業with都市型介護予防モデル松戸プロジェクト 【郊外住宅地における介護予防・健康づくりを推進する定路線型モビリティ】
兵庫県明石市	地理的交通不便地域の生活を支える次世代モビリティの導入実験 【標高差のある住宅地と生活拠点・バス停を結ぶ定路線型モビリティ】
兵庫県朝来市	坂道の住宅団地を駆け巡るラストワンマイルモビリティ 【中山間地域の住宅地におけるシルバー人材が活躍する定路線型モビリティ】
岡山県笠岡市	知-な空間・知-な乗り物 ～期待に応えるモビリティ@笠岡諸島～ 【離島の住民の移動と観光周遊手段を兼ねるデマンド型・定路線型モビリティ】
山口県宇部市	“コンパクトシティに向けて” どこでも入れる「地域の足」まちなかグリーンシェアモビリティ実証事業 【中心市街地における高齢者の移動手段としての定路線型モビリティ】
宮崎県宮崎市	中心市街地の回遊性向上による波及効果を目指した新モビリティ実証調査事業 【駅とまちなかをつなぎ、市街地を活性化させる定路線型モビリティ】
宮崎県延岡市	自律性の高い集落形成を後押しする新モビリティ実証事業 【公共交通の空白地である三角州地帯の生活を支えるデマンド型モビリティ】

地域	実証運行期間	使用車両
岡山県笠岡市 (北木島、高島、真鍋島)	9月13日(金)～9月29日(日)	ゴルフカート (4人乗り、2台)
宮崎県延岡市	9月21日(土)～10月13日(日)	ゴルフカート (4人乗り、1台)
兵庫県朝来市	10月3日(木)～10月23日(水)	ゴルフカート (7人乗り、4人乗り、1台ずつ)
千葉県松戸市	10月28日(月)～11月23日(土)	ゴルフカート (7人乗り、1台)
兵庫県明石市	10月30日(水)～11月22日(金)	ゴルフカート (7人乗り、1台)
山口県宇部市	10月30日(水)～11月12日(火)	eCOM-8 (1台)
宮崎県宮崎市	11月29日(金)～12月15日(日)	eCOM-8 (1台)※もう1台別途確保

・視察については、各地域に直接お問い合わせください。

背景・目的

- 「SDGs」（持続可能な開発目標）や「パリ協定」を踏まえ、脱炭素イノベーションによる地域社会・経済システムの変革が不可避。
- このため、各地域がその特性を活かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて近隣地域等と共生・対流し、より広域的なネットワークを構築していく「地域循環共生圏」の創造が必要。
- 特に、脱炭素と関連の深い地域エネルギーや地域交通分野において、民間の知見・資金を最大限活用した経済合理性、持続可能性を有する自立・分散型地域エネルギーシステムや脱炭素型地域交通モデルの確立を目指す。

■ 先進技術を用いた導入方法の実証（委託）

（１）地域エネルギー、地域交通分野での地域循環共生圏構築のための検討経費のうち

２．CNF、IoT技術等の先進技術を活用したグリーンスローモビリティの導入実証事業

車体へのCNF（※）部材の導入やIoTを活用したモビリティサービスの構築など、交通のさらなる低炭素化の実現を目的とした、複数テーマにおけるグリーンスローモビリティに関する実証を実施。

※CNF（セルロースナノファイバー）：木材等をナノ単位まで細分化して得られる素材で、鋼鉄の5分の1の軽さで5倍の強度があり、次世代素材として期待されている。

実施期間：2019年度～2023年度

■ 計画策定・導入に係る費用の支援（補助）

（２）地域再エネ等の活用による持続可能な自立・分散型地域エネルギーシステムや脱炭素型地域交通モデルの構築支援事業のうち

３．自動車CASE活用による脱炭素型地域交通モデル構築事業

自動車CASE（※）、電動モビリティを活用した脱炭素交通モデルの構築を目的とした、

- ① 事業性が見込まれる電動モビリティ（EV、超小型モビリティ、**グリーンスローモビリティ**、電動二輪等）を活用した**地域交通脱炭素化に向けた計画策定**
- ② ①で策定した事業計画等に基づく脱炭素型地域交通モデル構築に**必要な設備等の導入に係る費用の一部を支援**。

※CASE：Connected（接続）、Autonomous（自律走行）、Shared（共有）、Electric（電動）の略。これらを組み合わせたサービスは次世代の地域交通の姿として注目されつつある。

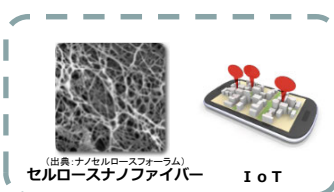
実施期間：2019年度～2023年度

事業スキーム



IoTとグリーンスローモビリティを組み合わせた導入による、地域課題の解決と交通の大幅な低炭素化の同時達成

イメージ



事業スキーム



イメージ



令和元年度 グリーンスローモビリティ関連事業 (環境省・国交省連携)

①IoT実証事業

- ・下記7地域を選定。秋以降、実証開始予定。

福島県いわき市	“フラシティビークル”を活用した『スマート交通』推進プロジェクト
福島交通株式会社 (実施場所：福島県飯舘村)	中山間地におけるラストワンマイルモビリティ
大阪府河内長野市	開発団地におけるグリーンスローモビリティを活用したQOL（生活の質）向上モデル事業
島根県大田市	世界遺産石見銀山大森地区におけるGSMを中心とした地域内交通整備事業
広島県尾道市	グリーンスローモビリティを核とした環境配慮型モビリティ連携による次世代観光まちづくり
香川県琴平町	IoTで利用者に優しく安全「ことこと感幸バス」実証プロジェクト
大分県由布市	「IoT等の先端技術を活用したグリーンスローモビリティ」実証事業

②購入費補助事業

- ・10事業者から応募があり、下記8事業者を選定。

事業実施団体名	事業実施場所	事業実施団体名	事業実施場所
岡山県備前市	岡山県備前市	アサヒタクシー株式会社	広島県福山市
社会福祉法人みずうみ	島根県松江市	京都府相楽郡和束町	京都府相楽郡和束町
伊豆箱根バス株式会社	静岡県沼津市	東京都豊島区	東京都豊島区
広島県福山市	広島県福山市	京浜急行電鉄株式会社	神奈川県横浜市

グリーンスローモビリティの各事業の違いについて 国土交通省

- 令和元年度におけるグリーンスローモビリティに関する事業は下記のとおり。
- ① グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業（国交省事業）
 - ② IoT技術等を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業
 - ③ 平成31年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業のうち、脱炭素型地域交通モデル構築支援事業（グリーンスローモビリティを活用する事業））
（②③は環境省・国交省連携事業）
- なお、③は、地域が実施するグリーンスローモビリティを活用した事業における車両購入費の2分の1を支援するものであるため、各地で実証運行を実施する①②とは事業の性質が異なる。

	①	②	③
実証期間	単年度	複数年年度(最長3年)	
応募可能な団体	地方公共団体	市町村を含むコンソーシアム	地方公共団体、民間企業、一般社団法人・一般財団法人、特定非営利活動法人など
実証中の走行体系	有償・無償を問わない (有償が望ましい)	原則、有償運行を含む	
事業の特徴	2～4週間の短い期間で 実証が可能	IoT技術等の先進技術を活用した 導入効果の実証(長期間)	車両購入費の補助
国が負担する費用	車両調達にかかる費用 (レンタル費、現地までの輸送費、メンテナンス費等)		車両購入費の1/2
	車両以外の費用(実証に必要なIoT機器、報告書作成費用等) ※各年度最大3000万		
採択地域が負担する費用	・ドライバー手配、車庫確保、関係者間調整等にかかる費用 ・各事業主体の人件費 ・地域内での車両の輸送費(複数箇所を実証を行う場合)		・車両購入費の1/2 ・ナンバー取得費用
	実績や効果の把握等に必要な調査費用		

グリーンスローモビリティ走行実績一覧 その1

	地域名	運行主体(実証主体)	概要(運行体系等)
1	長野県飯田市	信南交通(株)※飯田市から委託	定時路線・無料
2	群馬県桐生市	桐生市	定時路線・無料
3	富山県宇奈月温泉	(一社)でんき宇奈月	定時路線・無料
4	群馬県みなかみ町	みなかみ町	定時路線・無料
5	岩手県大槌町	東京大学	定時路線・無償運行による実証実験
6	石川県輪島市	輪島商工会議所	定時路線・無料
7	群馬県玉村町	玉村町	無料
8	岩手県大船渡市	大船渡市、東京大学、キャッセン大船渡	定時路線・無償運行による実証実験
9	群馬県富岡市	(株)まちづくり富岡※富岡市から委託	定時路線・無料
10	京都府伊根町	(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社伊根地域本部	① 定時路線・無償運行による実証実験 ② 公共交通空白地有償運送による実証実験
11	愛知県瀬戸市	運行協議会(地域住民・交通事業者・行政で構成)	定時路線・無償運行による実証実験
12	群馬県みどり市	みどり市	定時路線・無料
13	京都府和束町	和束町	定時路線・無償運行による実証実験
14	三重県志摩市	志摩市	定時路線・無償運行による実証実験
15	千葉県大多喜町	(一社)大多喜町観光協会	定時路線・無償運行による実証実験
16	大分県姫島村	姫島エコツーリズム推進協議会	レンタカー事業
17	東京都利島村	利島村	レンタカーによる実証実験
18	島根県松江市	社会福祉法人みずうみ	デマンド・無償運行
19	京都府京都市大原	京都市	定時路線・無償運行による実証実験
20	島根県大田市	①②大田市	① 定時路線・無償運行による実証実験 ② 調整中

※ 黄色:継続的な運行が認められる地域(有償、無償は問わない)

緑色:IoT技術等を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業(環境省・国交省連携)採択地域

グリーンスローモビリティ走行実績一覧 その2

	地域名	運行主体(実証主体)	概要(運行体系等)
21	静岡県沼津市	沼津市	定時路線・無償運行による実証実験
22	青森県十和田市奥入瀬	青森県	定時路線・無償運行による実証実験
23	岡山県備前市	備前市	デマンド、定時路線・無償運行による実証実験
24	神奈川県横浜市	京急電鉄(株)	定時路線・無償運行による実証実験
25	福島県いわき市	①②いわき市	① 定時路線・無償運行による実証実験 ② 調整中
26	広島県福山市	① 福山市 ② アサヒタクシー(株)	① 定時路線、デマンド型タクシー・無償運行による実証実験 ② タクシー事業
27	奈良県桜井市	桜井市	定時路線・無償運行による実証実験
28	三重県東員町	東員町	デマンド・無償運行による実証実験
29	熊本県天草市	天草市	定時路線・無償運行による実証実験
30	大分県日田市	日田市	無償運行による実証実験
31	香川県琴平町	①②琴平町	① 定時路線・無償運行による実証実験 ② 調整中
32	栃木県宇都宮市	宇都宮市	定時路線・無償運行による実証実験
33	宮城県仙台市	東北次世代移動体システム技術実証コンソーシアム	定時路線・無償運行による実証実験
34	新潟県新潟市	新潟県	定時路線・無償運行による実証実験
35	岐阜県中津川市	(一社)最先端田舎中津川	定時路線・無償運行による実証実験
36	福島県会津若松市	会津若松市	実証実験
37	岡山県笠岡市 (北木島、高島、真鍋島)	笠岡市	定時路線・無償運行による実証実験
38	宮崎県延岡市	延岡市	デマンド・無償運行による実証実験
39	香川県土庄町豊島	(株)カレンスタイル	レンタカーによる実証実験
40	香川県三豊市詫間町栗島	三豊市	デマンド・無償運行による実証実験

※ 黄色:継続的な運行が認められる地域(有償、無償は問わない)

水色:グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業(国交省単独)採択地域

緑色:IoT技術等を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業(環境省・国交省連携)採択地域

グリーンスローモビリティ走行実績一覧 その3

	地域名	運行主体(実証主体)	概要(運行体系等)
41	兵庫県朝来市	朝来市	定時路線・無償運行による実証実験
42	長野県松本市	松本市	定時路線・無償運行による実証実験
43	広島県庄原市	庄原MaaS検討会	定時路線・無償運行による実証実験 ※新モビリティサービス推進事業の一環
44	広島県廿日市市	広島工業大学	定時路線・無償運行による実証実験
45	千葉県松戸市	松戸市	定時路線・無償運行による実証実験
46	島根県雲南市	雲南市	定時路線・無償運行による実証実験
47	山口県宇部市	宇部市	定時路線・無償運行による実証実験
48	兵庫県明石市	明石市	定時路線・無償運行による実証実験
49	広島県尾道市	尾道市等	定時路線・無償運行による実証実験
50	東京都豊島区(池袋)	WILLER EXPRESS(株) ※豊島区から委託	バス事業(路線定期運行)(予定)
51	東京都町田市	社会福祉法人悠々会	自家用有償旅客運送(予定) ※鶴川団地地域支え合い連絡会に登録した会員限定
52	宮崎県宮崎市	宮崎市	定時路線・無償運行による実証実験
53	福島県飯館村	福島交通(株)	調整中
54	大阪府河内長野市	河内長野市	調整中
55	大分県由布市	由布市	調整中

※ 水色:グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業(国交省単独)採択地域

緑色:IoT技術等を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業(環境省・国交省連携)採択地域

走行実績一覧(実走期間、車両も含めた完全版)は、国土交通省のグリーンスローモビリティポータルサイトに掲載します。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_fr_000139.html

グリーンスローモビリティ事業化に向けたポイント



国土交通省

- ①地域の課題解決に適した運行手法、車両、ルート、運賃、体制（運転手の確保）等の検討・調整
- ②地方公共団体（交通、まちづくり、福祉部局等）、交通事業者、商工会、福祉関係者、観光事業者等、様々な関係者が本モビリティの意味を理解し、それぞれ自らの役割を認識し、地域で一緒に取り組む体制づくり
- ③お披露目会、出発式、チラシの配布等の情報発信を積極的に行い、出来るだけ多くの方に知ってもらい、自分たちのモビリティとして愛着を持ち乗ってもらう気運の醸成

広島県福山市（タクシー事業）

運行主体：アサヒタクシー（株）
運行地域：鞆地区
利用料金：初乗り630円（通常タクシーと同等）
車両：ゴルフカート
事業開始：2019年4月～



大分県姫島村（レンタカー事業）

事業主体：姫島エコツーリズム推進協議会
利用地域：姫島
利用料金：1時間 2,500円
（4人乗り）
車両：ゴルフカート
事業開始：2018年7月～



東京都豊島区（バス事業）

運行主体：WILLER EXPRESS（株）
※豊島区より委託
運行地域：池袋駅周辺
運賃：一回券（大人）200円
車両：eCOM-10
運行体系：路線定期運行
事業開始：2019年11月下旬（予定）



東京都町田市（自家用有償旅客運送事業）

運行主体：社会福祉法人悠々会
運行地域：鶴川2・5・6丁目団地と
鶴川団地センター名店街との間
利用対象：団地に居住する高齢者
（登録制）
運行日：毎週月・木曜日
登録料：年間 500 円
車両：ゴルフカート
利用登録開始：2019 年 11 月1日



おわりに～グリーンスローモビリティの政策コンセプト～

【従来の公共交通とグリーンスローモビリティの違い】

多くの人を
早く、時間通りに
閉じられた空間で
遠くまで

こじんまりと
ゆっくり、余裕を持って
開放的な空間で
近くまで

従来の公共交通と異なる特徴を持つ

【グリーンスローモビリティが持つ付加価値】

- ①車内のコミュニケーションが弾むので、乗って楽しい、
- ②車外とのコミュニケーションも弾むので 周りの人も楽しい
- ③地域の人（高齢者、女性、障害者など）が「楽しい公共交通の運転手」という新しい活躍の場を得やすい
- ④地域コミュニティがデザインしやすいので、運営する人も楽しい
→乗る人・住む人・運転する人・運営する人が「楽しい」



【グリーンスローモビリティの政策コンセプト】

- 1 従来の公共交通ネットワークを補完する「**低速の小さな公共交通**」
- 2 （電動でオープンな構造であることから）運転手と乗客や乗客同士、乗客と歩行者などのコミュニケーションが弾む機能を持つ「**乗って楽しい公共交通**」
- 3 福祉面でのお出かけ支援、地域の賑わい創出、観光客の満足度向上、高齢者の見守り、地域防災・防犯のための絆の強化等の多様な副次的効果を持つ「**コミュニケーション装置**」

低炭素型の持続可能な交通、持続可能な地域社会の実現